



4年生、校外学習に行ってきました。

心豊かに、助け合う子ども
よく考え、学習する子ども

- 12月2日(水)、総合の授業の一環として、4年生が校外学習に行ってきました。場所は、甲府・峡東クリーンセンターです。学校で環境に関する出前授業を受けるなど、事前学習を行うなかで、当日を迎えました。目的は「私たちが出すごみの行方を知り、処理場を見学することで、地域の暮らしと環境を守るために自分たちにできることを考える。」でした。
- 当日はタクシーを利用して、現地まで行きました。環境問題、ゴミ問題がさげられるようになって、かなりの月日がたちますが、まだまだゴミが減っているとはいえません。今回の目的にもありますが、まさに『環境を守るために自分たちにできることを考える』ということがとても大切になります。一人一人ができること(ゴミの減量等)は小さくとも、それがたくさんの人、1億人以上の日本に住む人たちが、みんなで意識して実行すれば、大きなものとなり、日本の環境ひいては地球の環境を守ることに繋がります。
- 施設においては、ごみ減らし隊による説明、施設紹介や施設案内などがあったとのことですが、これを機に、自分の身の回りのできることからおこなってみてください。まずは、自分の家そして中道南小から始めましょう！！



3年生も校外学習に出かけました！

- 12月7日(月)、4年生に引き続き、3年生も校外学習に出かけました。甲府市の中道エリアでのみ栽培されている希少品種のスイートコーン、その名も『きみひめ』。「きみひめを育て、広めている人の思いを聞き、ふるさとへの思いを深める。」という目標のもと、旬果市場に行ってきました。
- 「きみひめ」は、最高糖度が19度とも言われるとうもろこしです。19度というと、ぶどうなどと同じ位の甘さで、野菜というよりも、フルーツに近い甘さです。採れたての新鮮な「きみひめ」は、茹でて食べるのはもちろん、なんと、生のまま食べても甘くて美味しいそうです。当日、子どもたちは生のもろこしは食べませんでした。コーンポタージュとして味わい、それをおみやげにいただきました。今回は、写真はありませんが、3年生の皆さんの記憶の中に、そして味覚として残ったのではないかと思います。
- 学校だよりにたびたび農産物にかかわる内容をのせさせてもらっていますが、改めてこの中道地区は自然の恵みあふれる地域だと感じます。都会から山梨県に自然を求めて移住する人が増えてきている中で、ぜひ、この中道地区にも移住してもらい、そして、子どもたちも含め、人口が増えることを願ってやまないです。

6年生は、狂言ワークショップ! ~そろり、そろり~

- 12月8日(火)、今度は6年生がYCC 県民文化ホールでの公演「狂言ワークショップ」に行ってきました。2人、体調をくずして欠席でしたので、8人の6年生と小野先生がタクシーで、そして私は午前中出張があったので、そこから直接文化ホールに行きました。
- 県内各地の小学生が参加していましたが、密を避けるため、指定された一つおきの座席に座りました。最初に『柿山伏』という狂言を鑑賞した後、ワークショップがあり、狂言師の方が、狂言についてとてもわかりやすく説明してくれました。本来なら代表が舞台にあがって実演するところ、感染症対策のためなくなり、安心?していたところ、学校ごとにその場に起立して、狂言師が見本をみせた内容(柿を食べるしぐさをやった後、『さてさて、ん【う、ではなく、ん】まい柿じゃ!』)を実演しました。恥ずかしさを忘れ、6年生8人+教員2人で、声を出し何とかやり直しをせず、1度で終わりました。チョコプラ長田の物まねを思い出していたのは私だけでしょうか?

- 伝統芸能を間近にみる機会はなかなかありませんので歌舞伎しかみたことのない私もとてもよい経験になりました。6年生の皆さんはいかがでしたか?



左から畑主、狂言師、山伏

『はっはっはっ』

これは全員で実演した鬼

